

指定管理者評価結果について

1 評価の仕組み

- 指定管理施設の管理運営状況について、第三者的立場から検証を行うため、H23年度に行財政改革推進委員会の部会として、指定管理者評価部会を設置した。
- 評価結果については、指定管理者にフィードバックすることにより、県民サービス及び業務効率性の一層の向上と公の施設にふさわしい適正な管理運営の確保を図る。
- 指定管理者評価部会は、知事が委嘱した6名の学識経験者等により構成し、施設種別に応じて、3名ずつの2部会を設け、評価対象施設を分担する。

指定管理者評価部会

施設種別	委員		
	氏名	役職等	備考
① 文化・コンベンション ② レクリエーション・スポーツ	岩崎 美紀 <small>イワサキ ミキ</small>	中小企業診断士	部会長、行財政改革推進委員会委員
	竹田 隆行 <small>タケダ リュウキョウ</small>	日本文理大学 経営経済学部 准教授(スポーツ経営学)	
	木下 英郎 <small>キノシタ ヒデオ</small>	(有)メガネの正視堂 専務取締役	
③ 社会福祉 ④ 農林業振興 ⑤ 港湾・公営住宅	井田 知也 <small>イダ トモヤ</small>	大分大学 経済学部 教授(公共経済学 財政学)	部会長、行財政改革推進委員会委員
	緒方 幸子 <small>オガタ サチコ</small>	別府発達医療センター 児童福祉センターひばり園 園長	
	炭本 典生 <small>スミモト ノリオ</small>	中小企業診断士	

2 評価の方法

- | | |
|------------------------------------|------------------|
| ① 所管課評価(施設所管課が評価を実施し、指定管理者評価部会に提出) | … 6/2～7/10 |
| ② 第三者評価(指定管理者評価部会が所管課評価を検証) | … 7/28、8/6、21、27 |
| ③ 評価結果を行財政改革推進委員会に報告、公表 | … 10/30 |
| ④ 評価結果を指定管理者にフィードバック | … 11月初旬 |

3 評価の種類

種類	時期	概要
総括評価(5段階評価)	5年度目(指定期間の最終年度)	採点を行い、A～Eの5段階で評価する。
中間評価(5段階評価)	2年度目	
年次評価(所見評価)	それ以外の年度	所見を記した文章により評価する。

4 評価対象

施設種別	施設数	指定管理者数	評価種別内訳(指定管理者数)		
			所見評価	5段階評価	
				中間評価	総括評価
① 文化・コンベンション	3	2	0	2	0
② レクリエーション・スポーツ	13	8	3	4	1
③ 社会福祉	4	4	0	0	4
④ 農林業振興	3	2	0	0	2
⑤ 港湾・公営住宅	3	3	1	2	0
計	26	19	4	8	7

5 評点結果の取扱い

(1) 総括評価において「A」・「B」ランクの評価を受けた指定管理者に対しては、次期の指定管理候補者選定委員会における各選定委員の採点(100点満点)に得点加算を行う。

※ 「A」ランク・・・10点加算、「B」ランク・・・5点加算

(2) 総括評価において「E」ランクの評価を受けた指定管理者については、改善状況を県において評価・検討し、その結果、次回選定しないこともあり得る。

6 評価結果の概要

(1) 総括評価(5段階評価)【8施設、7団体】

施設種別② レクリエーション・スポーツ

	施設名	指定管理者	点数	評価ランク
1	ハーモニーパーク	(株)サンリオエンターテイメント	70	C

施設種別③ 社会福祉【4施設、4団体】

1	大分県社会福祉介護研修センター	(社福)大分県社会福祉協議会	80	B
2	大分県母子・父子福祉センター	(一財)大分県母子寡婦福祉連合会	76	C
3	大分県聴覚障害者センター	(社福)大分県聴覚障害者協会	70	C
4	大分県身体障害者福祉センター	(社福)大分県社会福祉協議会	77	C

施設種別④ 農林業振興【3施設、2団体】

1	大分農業文化公園	(公社)大分県農業農村振興公社	64	C
2	大分県都市農村交流研修館			
3	大分県林業研修所	(公財)森林ネットおおいた	77	C

(2) 中間評価(5段階評価)【13施設、8団体】

施設種別① 文化・コンベンション【3施設、2団体】

	施設名	指定管理者	点数	評価ランク
1	大分県立総合文化センター	(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団	80	B
2	大分県立美術館			
3	大分県立別府コンベンションセンター	ビーコンプラザ共同事業体	85	B

施設種別② レクリエーション・スポーツ【8施設、4団体】

1	大分県長者原オートキャンプ場	(有)吉武建設	72	C
2	大分県長者原園地			
3	大分県青少年の森			
4	大分県平成森林公園	(公財)森林ネットおおいた	80	B
5	大分県神角寺展望の丘			
6	大分スポーツ公園	(株)大宣	76	C
7	高尾山自然公園			
8	大分県立庄内屋内競技場	由布市	60	C

施設種別⑤ 港湾・公営住宅【2施設、2団体】

1	別府港機械管理駐車場・県営3号上屋・石垣地区緑地	(株)おおいた観光サービス	83	B
2	大分港大在コンテナターミナル	(株)大分国際貿易センター	70	C

(3) 年次評価(所見評価)【5施設、4団体】

施設種別② レクリエーション・スポーツ

	施設名	指定管理者	所見のポイント
1	大分県マリンカルチャーセンター	(株)プランニング大分・おおいたインフォメーションハウス(株)共同事業体	原価計算や粗利についての想定や指標がない。経営の基礎となる指標や根拠を持ち、運営すべき。
2	大分県リバーパーク犬飼	豊後大野市	多目的利用等、利用の幅を広げる取り組みを進めるべき。
3	大洲総合運動公園	ファビリス・プランニング大分共同事業体	経費削減のアイデア、実行力の面で高く評価。利便性を高めるためのインターネットによる予約や抽選の方策についても検討されたい。
4	大分県立総合体育館		

施設種別⑤ 港湾・公営住宅

	施設名	指定管理者	所見のポイント
1	県営住宅等	大分県住宅供給公社	マイナンバー制度に向け職員研修等の対応に取り組むべき。

A・・・90～100点(特に優れている)
 B・・・80～89点(優れている)
 C・・・60～79点(適正である)
 D・・・40～59点(努力が必要である)
 E・・・0～39点(かなりの努力が必要である)

平成26年度の指定管理施設における収支及び目標指標の状況

	施設名	指定管理者	収支(単位:千円)			目標指標			
			収入 (うち指定管理料)	支出	収支差額	目標指標名	目標	実績	達成率 (%)
1	大分県立総合文化センター	(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団	603,284 (345,769)	603,284	0	ホール利用率 (%)	87.0	84.3	96.9
2	大分県立美術館					来館者数 (人)			
3 4	大分県長者原オートキャンプ場 大分県長者原園地	(有)吉武建設	13,681 (0)	15,830	▲ 2,149	利用者数 (人)	6,500	4,317	66.4
5	大分県立別府コンベンションセンター	ビーコンプラザ共同事業体	350,376 (21,903)	350,335	41	主要4施設の稼働率 (%)	58.0	58.0	100.0
6	大分県社会福祉介護研修センター	(社福)大分県社会福祉協議会	252,891 (154,599)	252,891	0	利用者満足度 (5段階評価)	4.0	4.5	113.5
7	大分県母子・父子福祉センター	(一財)大分県母子寡婦福祉連合会	5,628 (5,628)	5,628	0	相談件数 (件)	262	450	171.8
8	大分県聴覚障害者センター	(社福)大分県聴覚障害者協会	28,626 (28,626)	28,626	0	利用者数 (人)	20,500	25,436	124.1
9	大分県身体障害者福祉センター	(社福)大分県社会福祉協議会	52,101 (49,816)	52,101	0	利用者数 (人)	76,500	78,088	102.1
10	大分農業文化公園	(公社)大分県農業農村振興公社	208,236 (126,633)	208,164	72	入園者数 (人)	330,000	278,670	84.4
11	大分県都市農村交流研修館					受講定員充足率 (%)	80.0	94.0	117.5
						研修満足度 (%)	80.0	93.0	116.3
12	大分県林業研修所	(公財)森林ネットおおいた	22,605 (20,940)	22,605	0	研修満足度 (%)	80.0	95.0	118.8
13 14 15	大分県青少年の森 大分県平成森林公園 大分県神角寺展望の丘	(公財)森林ネットおおいた	86,125 (81,464)	86,125	0	施設利用件数 (件)	2,000	2,865	143.3
16	大分県マリンカルチャーセンター	(株)プランニング大分・おおいたインフォメーションハウス(株)共同事業体	302,004 (81,124)	321,537	▲ 19,533	利用者数 (人)	110,000	103,298	93.9
17	大分県リバーパーク犬飼	豊後大野市	3,253 (0)	6,030	▲ 2,777	利用者数 (人)	10,500	13,154	125.3
18	別府港機械管理駐車場・県営3号上屋・石垣地区緑地	(株)おおいた観光サービス	34,613 (0)	31,189	3,234	イベント開催数 (回)	50	93	186.0
19	大分港大在コンテナターミナル	(株)大分国際貿易センター	48,544 (48,544)	49,986	▲ 1,442	コンテナ取扱量 (TEU)	37,700	33,130	87.9
20	県営住宅等	大分県住宅供給公社	374,596 (374,596)	371,678	2,917	現年度徴収率 (%)	99.6	99.8	100.2
21 22	大分スポーツ公園 高尾山自然公園	(株)大宣	401,143 (371,080)	397,991	3,152	利用者数 (人)	1,220,000	1,251,769	102.6
23	ハーモニーパーク	(株)サンリオエンターテイメント	66,678 (66,678)	66,843	▲ 165	利用者数 (人)	401,500	466,550	116.2
24 25	大洲総合運動公園 大分県立総合体育館	ファビルス・プランニング大分共同事業体	137,241 (135,304)	136,591	650	利用者数 (人)	413,700	466,138	112.7
26	大分県立庄内屋内競技場	由布市	2,238 (0)	2,364	▲ 126	利用者数 (人)	4,500	5,400	120.0

平成27年度 指定管理者の管理運営に対する指定管理者評価部会の評価結果

1 総括評価(5段階評価)

施設種別	施設名	担当部局	指定管理者	評価項目(得点/配点)						合計得点	評価ランク
				目標指標等 設置目的の達成	利用者の 満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成 地域等連携	平等利用 安全・危機管理		
				評価結果及び指定管理者評価部会の意見							
②レクリエーション・スポーツ	ハーモニーパーク	土木建築部	(株)サンリオエンターテイメント	12/20	16/20	16/20	8/10	9/15	9/15	70	C
				<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新電力の活用による経費低減など、運営上の努力がなされていることは評価できる。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ マムシやイノシシなど、安全管理上注意を要する生き物への対策を適切に行いつつ、公園の活用を図って欲しい。 ○ 公園単体の利用者数がある程度把握しているのであれば、運営状況を把握する指標として活用すべきである。 ○ 小学校や幼稚園の遠足の受け入れを促すなど、公園単体の利用者を増加させるための取り組みも積極的に進めて欲しい。 ○ キャラクターと公園内を歩くイベントをしてはどうか。 <p>【対応案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまで公園内で野生動物によるけが人等が出ていないが、イノシシ等については、以前から付近の山に電気防護策を設置するとともに、公園内については、開園当初からあるフェンス・門扉により利用者の安全確保を図っている。なお、公園内にある竹林・山林エリアについては、注意看板を追加するとともに、忌避剤をまくなどして利用者の安全確保に努めていく。 ○ ハーモニーランドを除く公園部分の利用者数を把握するため、平成26年度から指定管理者による公園内巡視や、公園内を周回するハーモニートレイン乗降者数により、公園利用者数を把握することとしており、今後この数値を指標としたうえで公園内にあるフェスティバルステージでのイベント内容等を検討しながら、利用者の増につなげていきたい。 ○ 近隣の藤原小学校、八坂小学校の努力遠足の受入は行っているが、近隣の保育園の利用が少ないことから、今後は、他の保育園にも声かけを行い、児童・園児の公園利用の増加に努める。 ○ 公園内のフェスティバルステージでのイベント開催時には、キャラクターを活用し、イベント参加者とキャラクターが身近に触れあえるようなプログラムについて検討していく。 							
③社会福祉	大分県社会福祉介護研修センター	福祉保健部	(社福)大分県社会福祉協議会	16/20	16/20	16/20	/	16/20	16/20	80	B
				<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 来館者数を増加させていることや子どものための福祉講座など、これからの福祉を担う人材の裾野を広げる事業も積極的に実施していることは評価できる。 ○ 電気使用量の削減など、効果のある節減の取り組みがあり評価できる。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業内容やパンフレット等を見ると介護や高齢者福祉に関する研修支援に重点があるように見えてしまうので、関連事業の充実やPR等の工夫が必要と思われる。 <p>【対応案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護福祉研修センターは、介護や高齢者福祉に関する研修以外にも、子どものための福祉講座や障がい福祉に関する研修など、多様な講座・研修を実施している。これらの事業に対しても、さらに県民の関心が寄せられるよう、今後も、様々な媒体を活用し、PRに努める。 							

1 総括評価(5段階評価)

施設種別	施設名	担当部局	指定管理者	評価項目(得点/配点)						合計得点	評価ランク
				目標指標等 設置目的の達成	利用者の 満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成 地域等連携	平等利用 安全・危機管理		
				評価結果及び指定管理者評価部会の意見							
③社会 福祉	大分県母子・父子福祉センター	福祉保健部	(一財)大分県母子 寡婦福祉連合会	12/20	16/20	16/20	8/10	12/15	12/15	76	C
				【評価】 ○ひとり親家庭は増加している中で必要性は高い施設であり、夏期期間の施設の一般開放など、センターの認知を高める取り組みを行っていることは評価できる。 【意見】 ○利用者へのアンケートが設備に関することだけになっているので、施設の設置目的に合わせて、相談に対する満足度も調査し、集計・分析が可能にするべきである。 ○相談件数だけではなく、相談の内容や結果を件数等として記録するなど運営に関するデータを適切にとりつつ、分析結果を運営に活かしてほしい。 ○近隣の市からの利用が大半を占めるなど、全県的な認知が高くないため、電話相談も可能なことを含め、存在を全県的にさらにPRしてほしい。							
				【対応案】 ○相談支援の利用者に対するアンケートの実施を8月から開始しており、今後は、そのアンケート結果を集計・分析し、相談者の問題解決に結びつく支援ができるよう一層の取組を図りたい。 ○相談内容や結果については、既に整理・記録しているところであるが、今後は、その分析結果を活用し、相談者の必要とする支援策に関する研修の受講や支援機関との連携などに取り組みたい。 ○ホームページでの広報に加え、県内各地域の母子寡婦福祉団体や市町村担当課との連携を更に深めることにより、センターの相談支援の取組等について一層の周知を図りたい。							
③社会 福祉	大分県聴覚障害者センター	福祉保健部	(社福)大分県聴覚 障害者協会	24/30	6/10	18/30		16/20	6/10	70	C
				【評価】 ○26年度から新たにセンターまつりを開催するなど、聴覚障がい者への理解を深める活動を積極的に行っていることは評価できる。 【意見】 ○インフォメーションシステムを非常時に十分機能させるためにも、地震、津波、火事、不審者への対応などを想定した訓練のパターンを増やして行うなど、年に複数回の訓練を実施してもらいたい。							
				【対応案】 ○関係ボランティア団体や利用者からの意見を聴きながら、地震、津波、火事、不審者への対応などを想定した訓練の実施を検討する。							
③社会 福祉	大分県身体障害者福祉センター	福祉保健部	(社福)大分県社会 福祉協議会	20/25	20/25	9/15	4/5	12/15	12/15	77	C
				【評価】 ○老朽化が進んでいる中で、事故ゼロで管理運営している点、満足度のアンケート調査の職員の対応において、「不満」「やや不満」の回答が0%となっている点など、安全対策や利用者満足度の向上等に関する職員の努力は評価できる。 ○障がいのある方の優先利用を確保しながらも一般の利用の増加を図っていることは、収入の増加策として有効であるとともに、障害のある方とない方が一緒に施設を使い、ふれあう機会をつくるという点で大切なことである。							
				【意見】 ○ふれあいフェスタは、地域に根付き、定着しているが、ふれあい・交流の場であるということをPRし、さらに広めてほしい 【対応案】 ○地域住民だけでなく、多くの県民に会場していただけるよう内容をさらに充実させ、ふれあい・交流の場であることを、ホームページや広報誌、マスコミへの周知等を通じ、積極的に情報発信に努めていきたい。							

1 総括評価(5段階評価)

施設種別	施設名	担当部局	指定管理者	評価項目(得点/配点)						合計得点	評価ランク
				目標指標等 設置目的の達成	利用者の 満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成 地域等連携	平等利用 安全・危機管理		
				評価結果及び指定管理者評価部会の意見							
④農林 業振興	大分農業文化公園 大分県都市農村交流研修館	農林水産部	(公社)大分県農業 農村振興公社	12/20	8/20	12/20	8/10	12/15	12/15	64	C
				【評価】 ○ 目標指標は高い水準にあることは理解できるが未達であり、さらなる工夫が必要である。 ○ アンケートの回収率が他の施設と比べて低く、満足度が高いと評価できない。 【意見】 ○ アンケートの回収率が極めて低い(入場者数の0.3%)。リピーターを増やすという観点からも、アンケートとして有用な母数を集めた上で、分析する必要がある。必要となる母数や収集の方法についても改善されたい。 ○ ホームページを閲覧する際、読み込みに時間がかかるページや、スマートフォンだと見にくいページがあったため改善が求められる。 ○ 利用の落ち込む時期の対策が必要である。2月、3月は椿まつりで集客できたとのことであるが、そのほかにも落ち込みが大きいところにイベント等の対策が必要。その際には、集客効果の薄いイベントのスクラップも必要。 ○ 利用者として施設を使用した際に遊具で危ないと感じる事案があった。安全点検を再度見直しされたい。 ○ 多数の方が集う施設であり、障害者権利条約に基づき求められる合理的配慮にも率先して対応の検討を進められたい。							
				【対応案】 ○ 利用者アンケートについては、イベント参加者に積極的に協力を仰ぐなどするとともに、ホームページ上からもアンケートを提出できるようにする。本年度より入園者への聞き取り調査も行っており、アンケートの回収率の向上とともに、効果的な実施方法も併せて再度検討・工夫する。 ○ ホームページに関してはページ上掲載のチラシ、PDFデータ等の軽量化などを行うことにより機動性を高める。また、スマートフォンからのアクセス、Facebookなどについても定期的に見直しを行い、情報提供を強化する。 ○ イベントについては、これまでも集客効果の薄いイベントの見直しや変更を適宜行ってきた。今後も利用の落ち込む時期のイベント強化を図るとともに、大学・企業などと連携して、魅力あるイベントを実施していく。 ○ 公園遊具の安全点検に関しては、専門の業者による定期点検だけでなく、公園職員の目視などによる確認を行ってきたが、今後はこれまで以上に精度をあげた確認作業を実施する。高齢者・障害者等の利用を促進するため、これまで段差の解消、多機能トイレの設置などバリアフリー化に努めてきた。今後も引き続き推進していく。							
④農林 業振興	大分県林業研修所	農林水産部	(公財)森林ネットお おいた	24/30	16/20	12/15	4/5	12/15	9/15	77	C
				【評価】 ○ 対象者が少ない中で、新規林業者となる高校生への研修の実施なども含め、利用者数を増やしている点は評価できる。 【意見】 ○ アンケートで得た施設に対する要望は、アンケートの分析とあわせて報告書等に記載し、改善に活かされたい。							
				【対応案】 ○ アンケートで得た要望については、整理し報告書等に記載するとともに、改善に努めていきたい。							

2 中間評価(5段階評価)

施設種別	施設名	担当部局	指定管理者	評価項目(得点/配点)						合計得点	評価ランク	
				目標指標等 設置目的の達成	利用者の 満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成 地域等連携	平等利用 安全・危機管理			
				評価結果及び指定管理者評価部会の意見								
①文 化・コン ベンシ ョン	大分県立総合文化センター 大分県立美術館	企画振興部	(公財)大分県芸術 文化スポーツ振興 財団	16/20	16/20	16/20	8/10	9/15	15/15	80	B	
				【評価】 ○ 利用者の満足度が高い等、全般的に高いレベルで管理運営がなされている。 【意見】 ○ 一体管理で効率的に管理運営がなされているとのことだが、説明が足りていない面がある。一体管理でどのような効率化が図られたのかなど、県民にもわかる形で積極的に説明が必要。 ○ 26年4月分は、前年度に比べ利用者数の利用者数の落ち込みが大きかった。数字に大きな落ち込みがある場合等、報告書類で説明が必要な事項については、理由などについて団体内部や県所管課と情報の共有を図り、再発を防止されたい。 ○ アンケートの集計で、利用者の満足には「普通」を入れずに集計すべき。								
				【対応案】 ○ H26年11月に建物引き渡し・H27年4月下旬に美術館が開館であるため、一体的管理による運営効果については、今後実績が判明次第わかりやすい説明に努める。 ○ 月ごとの利用状況については、財団から毎月、業務報告書の提出を受けており、利用状況等に大きな変動が見られた場合は、その原因等を確認するとともに対応策等を協議している。今後とも、県と財団との情報共有に努める。 ○ アンケート結果については、「普通」の区分を除いて集計する方法に改める。								
①文 化・コン ベンシ ョン	大分県立別府コンベンションセンター	企画振興部	ビーコンプラザ共同 事業体	16/20	16/20	20/20	6/10	15/15	12/15	85	B	
				【評価】 ○ 施設の設置目的を理解し、積極的に事業を行っている点、光熱水費の節減や研修を地道に行っている点など、企業としてやるべきことを計画的に実行できており、評価できる。 【意見】 ○ グローバルタワーのさらなる活用を期待したい。								
				【対応案】 ○ グローバルタワーの利用促進を目的として、天文教室や婚活などイベントの開催やメディアを通じたPRに取り組むとともに、平成21年の日本夜景遺産認定を機に、冬期の営業時間を19時まで延長している。このような取組の結果、近年、年間利用者数は25,000人台～27,000人台で推移しており、平成26年度は約25,500人がグローバルタワーを利用した。今後は、特別イベントやキャンペーンによる取組、しいきアルゲリッチハウスとの連携など検討したい。								

2 中間評価(5段階評価)

施設種別	施設名	担当部局	指定管理者	評価項目(得点/配点)						合計得点	評価ランク
				目標指標等設置目的の達成	利用者の満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成地域等連携	平等利用安全・危機管理		
				評価結果及び指定管理者評価部会の意見							
②レクリエーション・スポーツ	大分県長者原オートキャンプ場 大分県長者原園地	企画振興部	(有)吉武建設	8/20	20/20	16/20	4/10	9/15	15/15	72	C
				<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者は落ち込んでいるが、初年度の初期の集客に難しいところがあった点や台風等の外的要因が重なった点は理解できる。利用者の要望にきめ細かく応える職員の対応は高く評価できる。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国立公園内の施設であるため規制があることから、看板等をたて施設を案内することができないのであれば、ホームページ等で事前に分かりやすく情報を提供しておくべき。 ○ テントの組み立てを手伝うなど、初めての方へ丁寧にフォローを行っていることは売りになるはず。キャンプをしてみたいけど、踏み出せていない層を取り込むべき。また、これらの層にアプローチするために、ツイッターやフェイスブックなどのツールでの広報や、まちなかでキャンプの実習講座を行うことなどが有効ではないか。 <p>パンフレットやHPがスペックに関するものに偏重しており、「登山とキャンプ」「家族で一日楽しむなら」など、周辺の見どころも含め、これから楽しみたい人に向けたモデルを提示することが誘客に効果的ではないか。</p> <p>【対応案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指定管理者は、キャンプ場のフェイスブックページを立ち上げ、情報発信を図ることとしている。 ○ 今後、ホームページやフェイスブックページを活用し、施設へのアクセスなどをわかりやすく情報提供するとともに、サービスの提供や周辺の環境も含めてキャンプ場の魅力を打ち出し、その楽しみ方のモデルを提示することにより、新たな層の取り込みを図りたい。 ○ 周辺の見どころ等との連携が一層強化できるという視点からも、指定管理期間が終了する平成30年度を目途に、市町村や民間による活用が期待できる施設として、施設のあり方を検討する。 							
②レクリエーション・スポーツ	大分県青少年の森 大分県平成森林公園 大分県神角寺展望の丘	農林水産部	(公財)森林ネットおおい	16/20	16/20	16/20	8/10	12/15	12/15	80	B
				<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 山間部の広い範囲を事故なく、また効率的に運営されており評価できる。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目標値以上の成果が出せるポテンシャルを持っている施設であるが、その魅力が知られてない。サイクリング、セラピー、森林浴など利用動機別のパンフレット等を製作するなど、県民の資産を活かす点から幅広くPRすべき。その方法としては、ツイッターやフェイスブックを活用すべき。 ○ 講座のチラシには申し込み方法を記載するべき。また申し込み方法が電話だけであり、共働き世帯等には便利が悪く、営業時間外でも受付可能な電子メールやFAX対応、あるいはホームページでの申込受付をする等の改善が望まれる。 ○ 講座は、価値のあるものを実施しており、施設使用や機材等の実費分を徴収することを検討すべき。 <p>【対応案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今年度、パンフレットの一部増刷や、ホームページのリニューアルを予定しており、利用動機別のパンフレット製作や、ホームページの改変とともに、フェイスブックの活用を検討し、県民の森をさらにPRしたい。 ○ 今後作成する講座案内チラシには、全て申込方法を記載することにする。また、12月までの講座については、既に電話での申し込み受付のみとして募集を開始しているため、当面は平日及び、土日祝日の受付時間の中で対応し、来年度FAX、メール、ホームページによる受付方法を検討していきたい。 <p>なお、ほとんどの講座が電話による先着順の受け付けとしているが、一部の申込者が連絡なく当日来ないなどの問題も発生しており、FAX、メール、ホームページでの先着順での受け付けは、対応に混乱を招く可能性があることから、抽選による参加者決定を検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 原材料費が発生する一部の講座については、既に有料としているが、その他の講座の有料化については個別に検討していきたい。 							

2 中間評価(5段階評価)

施設種別	施設名	担当部局	指定管理者	評価項目(得点/配点)						合計得点	評価ランク
				目標指標等設置目的の達成	利用者の満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成地域等連携	平等利用安全・危機管理		
評価結果及び指定管理者評価部会の意見											
②レクリエーション・スポーツ	大分スポーツ公園 高尾山自然公園	土木建築部	(株)大宣	16/20	16/20	12/20	8/10	12/15	12/15	76	C
				<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○サーカス等の大規模イベントの誘致により目標指標をクリアできており、評価できるが、今後は、大規模イベントも大切にしながら、これまで公園を使ってこなかった層への広報面での努力に期待したい。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公園内には来園した人にしか知られていない設備や楽しみ方が多々ある。例えば、パークプレイスに来るファミリー層に対して、「公園内でこういう楽しみ方ができる」という提案を、twitterやfacebookなどの一歩進んだウェブを活用しPRすることで、新たな利用者を開拓できるのではないか。 ○自主事業で、そばや陶芸など、スポーツと関係のない層を呼び込んでいるのは、施設の利活用を進める方策としては有効であり、継続的に実施して欲しい。 ○駐車場が分散しており、どの駐車場を利用すれば目的地に近く、便利なのかが分かりづらい。利用者の目線に立ち、公園内やホームページ等の駐車場の案内を見直してもらいたい。 <p>【対応案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまで大分合同新聞「ぶんぶん」での広告掲載、スポーツ公園ホームページの「ブログ」による情報提供、マス媒体によるパブリシティの有効活用など積極的にPR活動を行ってきたが、今後はさらに「facebook」も活用し、スポーツ公園の魅力等を情報発信し、新たな利用者の獲得を図る。 ○これまで取り組んできた「テニススクール」「硬式野球初心者教室」「そば道場」「陶芸塾」の4つの自主事業に関しては、改善・見直しなど行いながら継続実施するとともに、今後は展示会やお祭りなど、スポーツ以外の分野のイベント開催にも積極的に取り組んでいきたい。 ○ホームページなどで各駐車場と各施設とのアクセス等を紹介するとともに、案内板についても更にわかりやすい内容となるよう利用者へのサービスの充実を図りたい。 							
②レクリエーション・スポーツ	大分県立庄内屋内競技場	教育庁	由布市	12/20	12/20	12/20	6/10	9/15	9/15	60	C
				<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設の価値は高いものがあり、指定管理者にも施設の積極的な活用を期待したい。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特定の利用団体が占有している会議室等については、使用料を徴収すべきである。 ○県内外にライフル射撃の盛んなまちだとPRしたり、総合型地域スポーツクラブを活用するなど、利用者を増やすアプローチも試みて欲しい。 ○ライフル射撃協会が実質的な管理を担っている面があるが、責任の所在を明確にし、管理や運営にあたるべきである。 <p>【対応案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○会議室占有については、年間の施設使用料に含むものとして、徴収をしているところである。 ○県内の総合型地域スポーツクラブが集う交流会で、ビームライフルの体験を行うとともに、地域においても小中学校や総合型地域スポーツクラブなどに声掛けをし、ビームライフルの体験を行い、利用者増につなげていきたい。 ○公園施設と一体的に管理していることから、当該施設に管理者を常駐させることは厳しいが、ライフルと他の競技(テニス等)を同時に行うことがないこと、また、事故等に備えた対応マニュアルも整備しており、事故発生時の連絡体制等は確保されている。 							

2 中間評価(5段階評価)

施設種別	施設名	担当部局	指定管理者	評価項目(得点/配点)						合計得点	評価ランク	
				目標指標等設置目的の達成	利用者の満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成地域等連携	平等利用安全・危機管理			
				評価結果及び指定管理者評価部会の意見								
⑤ 港湾・公営住宅	別府港機械管理駐車場・県営3号上屋・石垣地区緑地	土木建築部	(株)おおいた観光サービス	20/20	16/20	16/20	10/10	9/15	12/15	83	B	
				【評価】 ○ 海からの玄関口として、行き届いた管理をしており、フェリーで来県された人への第一印象がよくなる環境が維持されていることは評価できる。 【意見】 ○ 昨年度の評価部会での意見を踏まえ、危機事象に対する訓練の実施やマニュアルの策定や改訂を行ったことは評価できるが、地震、津波などを想定にした訓練のパターンを増やすなど、万全を期す努力を引き続き行われたい。								
				【対応案】 ○ 従来の訓練に加え、今年度からは気象庁等関係省庁により全国的に実施される、津波防災の日の緊急地震速報訓練に合わせ、当施設でも独自に地震・津波を想定した初動措置訓練を実施することとしている。(津波防災の日:11月5日)								
⑤ 港湾・公営住宅	大在コンテナターミナル	土木建築部	(株)大分国際貿易センター	12/20	16/20	12/20	6/10	12/15	12/15	70	C	
				【評価】 ○ 365日・24時間フルオープンで、かつ、コンテナクレーンの操作等を業務内容とし、高い安全性が求められる施設において、事故が発生しておらず、適切に管理されている。 【意見】 ○ くん蒸庫の利用率がかなり低く、リスク、経費の面からも県として維持管理し続けるべきか、指定管理者に管理をさせるのが適切か等、管理のあり方を検討されたい。 ○ 県として施設を持つ意義を広く知ってもらおうという点で、親子教室などは良い取り組みであり、継続的に実施されたい。コンテナ取扱量が減少した理由が外的要因ばかりでは、掘り下げが薄いように感じる。関係機関が主となる部分かもしれないが、取り組みや結果の分析の情報等を共有し、指定管理者としての取り組みに活かされたい。								
				【対応案】 ○ くん蒸庫については、コンテナターミナルを利用できる企業の幅が広がることから、今後も継続して管理を行いたいと考えている。 また、指摘のあったリスク面については、現指定管理者がガス探知機の点検を実施するなど、適正に維持管理しており、万全を期している。また、経費面については、くん蒸庫のみ県の直営で管理する場合の新たな人件費の発生や管理技術の習得等が必要になることから、今後とも指定管理者が一体的に管理することが効率的であると考え。 ○ コンテナ取扱量の目標達成のため、「大分県ポートセールス実行委員会」のメンバーとともに、県内外の輸出入関連企業を訪問し(昨年訪問企業社数64社)、コンテナ取扱に係る情報収集や新規荷主の発掘を行うことに加え、大在コンテナターミナルを利用した際の助成制度(条件不利地域の集荷支援等)のPR活動を行う等、今後とも関係機関との情報共有など連携を密にしながら、施設の有利性を県内外に広くアピールし、取扱い貨物量の増加に努めていきたい。								

3 年次評価(所見評価)

施設種別	施設名	担当部局	指定管理者	指定管理者評価部会の意見
②レクリエーション・スポーツ	大分県マリンカルチャーセンター	農林水産部	(株)プランニング大分・おおいたインフォメーションハウス(株)共同事業体	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○赤字が続いているが、基本を押さえ経営を管理すれば、十分利益を出しつつ運営できる施設であると考えられる。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○原価計算や粗利についての想定や指標がないため、これまでの営業努力やイベント等の集客努力を行ってきたことが、利益に結びついていないか明らかでない。経営の基礎となる指標や根拠を持ち、運営すべき。 ○人材の育成に関し、ロールプレイング等、実践につながる研修も含め、体系的に人材の育成に取り組むべきである。 ○アンケートは県内・県外ではなく、営業の成果も把握できるように、県内エリアや県名など、詳しく聞くべき。 ○スポーツ団体の利用者は、リピータの強化につながるので、今以上の営業活動に期待したい。 <p>【対応案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今後は社会教育事業とその他事業それぞれの収支を算出し、それぞれの指標や根拠等をもって運営するよう改善したい。 ○今後は実践につながる研修を取り入れ、人材の育成に取り組むよう改善したい。 ○アンケートについては、県内・県外の表記ではなく県名や県内市町村名を記入するよう改善したい。 ○スポーツ団体の利用者については、引き続きの利用してもらうよう営業活動をするともに、新たな利用者を確保するようさらなる営業の強化を行っていく。
	大分県リバーパーク犬飼	土木建築部	豊後大野市	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○26年度の利用者数は目標を上回っているものの、今年度に冬芝植え替えを行わないことによる影響が想定され、利用者の増減や収支の見込みにどの程度反映されるか不明なため、今後の検証となる。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○冬芝植え替えを行わないことによる影響は今年度の状況を見てみないとわからないとのことであるが、養生期間の利用制限を行う必要がなくなるので、その間の利用増による収入増が見込めるはず。 ○サッカー専用グラウンドとしてではなく、多目的利用等、利用の幅を広げる取り組みを進めるべき。 ○利用者アンケートは、サッカー利用とカヌー利用、その他など利用用途に分けて分析するべき。 ○カヌー一般庫やカヌー施設は、カヌー協会が実質的な管理を担っている面があるが、責任の所在を明確にするともに、安全管理には県、指定管理者としても当事者意識を高く保ち、管理や運営にあたるべきである。 <p>【対応案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○冬芝の植替え中止による影響が懸念されるが、利用期間の制限がなくなるため、年間を通じた利用者増の促進と、サッカー以外の利用の可能性を検討していく。ただし、利用期間の制限がなくなっても、利用による芝の損傷が生育による回復を上回る状況ではグラウンドコンディションを良好に保つことができないため、単純に利用増につながらない面もあることから、状況を見極めながら、利用者増の取組につなげていきたい。 ○利用者アンケートの方法は、用途別分析を行うよう方法の見直しを行う。(次回のアンケートから実施予定) ○安全管理及び運営については、県と指定管理者、指定管理者から委託しているカヌー協会の責任分担を踏まえ、事故等に備えた対応マニュアルや、事故発生時の緊急連絡網の再確認を行い、適切な管理運営に努めていく。

3 年次評価(所見評価)

施設種別	施設名	担当部局	指定管理者	指定管理者評価部会の意見
②レクリエーション・スポーツ	大洲総合運動公園 大分県立総合体育館	土木建築部 教育庁	ファビルス・プランニング大分共同事業体	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物処理経費の削減のため、剪定木や枯葉を燃料や堆肥等として希望者に配布している取り組みや下水道料金低減のため、下水利用とならない散水利用箇所にメーターを設置して使用分を控除するなど、経費削減のアイデア、実行力の面で高く評価できる。 ○ 軟式野球場等でキャンセルなどで空きが見込まれる際には営業活動を行うなど、収入増加のための取り組みも積極的に行われている点も評価できる。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページ上で施設の空き状況を確認できるのみであり、抽選となった際には施設まで行く必要がある。利用者から大きな不満は出ていないとのことであるが、平等性を保ちつつも利便性を高める予約や抽選の方策についても検討されたい。 <p>【対応案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公園施設利用者の利用申込みに関するサービス改善として、平成25年度からホームページ上で施設の空き状況の確認が出来るよう整備しているところであり、この空き状況確認システム完成後は、テニスコート等順次空いた時間帯へのネット申込みシステムを導入する準備を進めていく。 ネットによる抽選申込みについては大分市が導入しているが、抽選後に支払をしない者がでる問題があり、現在は窓口での利用料徴収に戻している。そのため、まずは空き時間についてのネット申込みの状況をみながら、抽選申し込みをネットで受け付ける場合のメリット、デメリット、必要経費についても検討していく。 ※大分市の市民利用施設はリースの抽選システムを使用。経費は2,200万円～2,400万円程度必要
⑤港湾・公営住宅	県営住宅等	土木建築部	大分県住宅供給公社	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家賃の収納率が99.8%とかなり高いことや独居老人等の見守りに力を入れていることは評価できる。 ○ 市営住宅と県営住宅の一体管理で窓口での利便性が増したことなど、管理代行制度での取り組みの成果が現れてきている。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ マイナンバー制度への対応が必要となる業務内容が多く含まれる可能性が大きいため、実際に活用される時期は先であったとしても、職員の研修や勉強会などは事前にしっかりと対応に取り組むべき。 <p>【対応案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年7月の運用開始に向け、情報管理の徹底に関する研修を実施することとする。また、システムを扱う職員には、平成27年度にシステム改修を終え、平成28年度にシステム検証を実施した後にシステムの操作の研修を合わせて実施する。